

長南町公共施設等総合管理計画 改訂版 概要版

1 はじめに

【背景】

- 高度経済成長期に整備されてきた公共施設等の老朽化が進行
- 人口減少や少子高齢化の進行等により、公共施設等の利用需要が変化

【目的】

公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化することを目的に、「長南町公共施設等総合管理計画」を策定(平成29年3月)

具体的な対策内容を定める「個別施設計画」を策定し、
公共施設等の適切な管理を推進

個別施設計画の記載内容を踏まえ、計画の見直し・充実化を目的に、
「長南町公共施設等総合管理計画」を改訂（令和4年3月）

【計画期間】

計画期間 30年 【平成29(2017)年度から令和28(2046)年度まで】

※概ね10年ごとに見直すことを基本とし、今後の上位計画などの見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて、適宜見直し

【対象範囲】

- 本計画の対象は町有財産のうち、公共施設（公共建築物を有する施設）及び、インフラ資産

公共施設	インフラ資産
住民文化系施設、学校教育系施設などの12分類 41施設 41,542m ² (R3.4.1時点)	道路、橋りょう、農業集落排水、農業用ダム、ガス、公園 (R3.4.1時点)



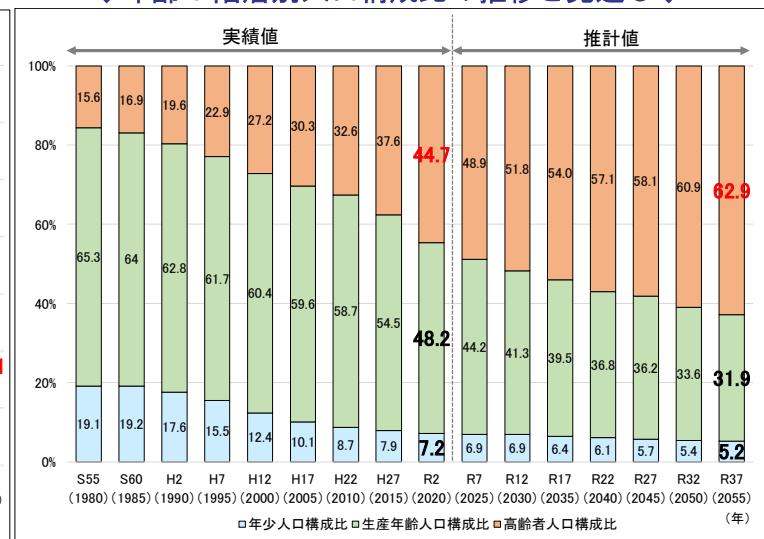
※広域組合の施設は、本計画の対象外としている。

長南町役場庁舎

2 公共施設等の現況及び将来の見通し

- 今後も人口減少が進行し、令和2年の7,198人から令和37年には2,761人まで減少する見通し
 - 年齢3階層別的人口構成比は、高齢化が進行し、令和37年には62.9%まで増加する見通し
- 人口構造の変化を踏まえた公共施設のあり方や新たな町民ニーズに対応した機能の維持・向上の検討が必要
- ◇総人口の推移と見通し◇

◇年齢3階層別人口構成比の推移と見通し◇

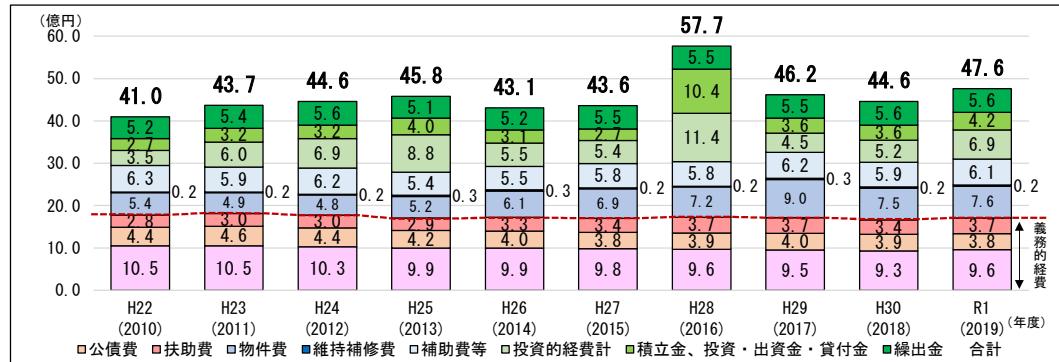


出典：実績値は総務省「国勢調査」、推計値は長南町「長南町人口ビジョン」

※年少人口：15歳未満の人口、生産年齢人口：15歳以上65歳未満の人口、高齢者人口：65歳以上の人口。

2 公共施設等の現況及び将来の見通し（続）

◇歳出（普通会計）の推移

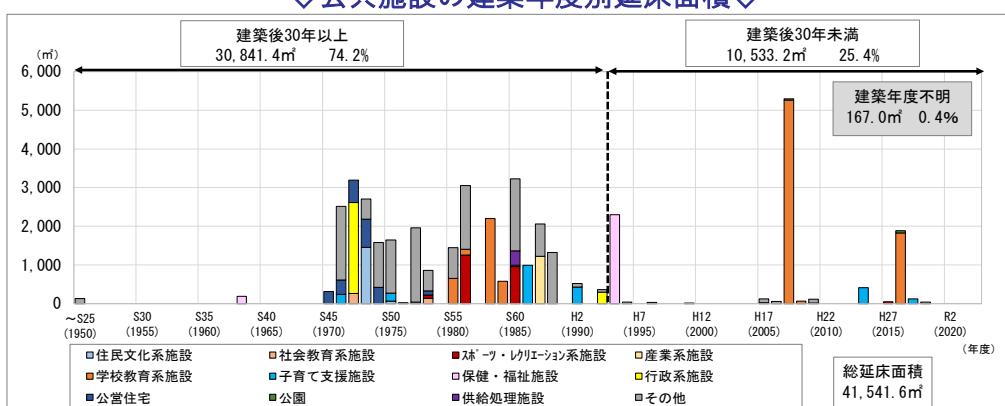


※扶助費：社会保障制度の一環として、生活保護法などの各種法令に基づいて支払われる経費、及び地方公共団体が単独で行っている住民福祉に要する経費。

- 歳入は、生産年齢人口の減少に伴い、大幅な増加は見込めない
- 歳出は少子高齢化の進行による高齢者の増加の予測に伴い、扶助費の占める割合が増加していく見込み

→今後の厳しい財政状況を見据えた、施設の維持管理・運営にかかるコストの縮減や財源の確保が必要

◇公共施設の建築年度別延床面積



策定時 (H27 年度末)

施設数 39 施設

延床面積 39,782 m²

町立長南小学校の新築等により、策定時より若干増加

改訂時 (R2 年度末)

施設数 41 施設

延床面積 41,541.6 m²

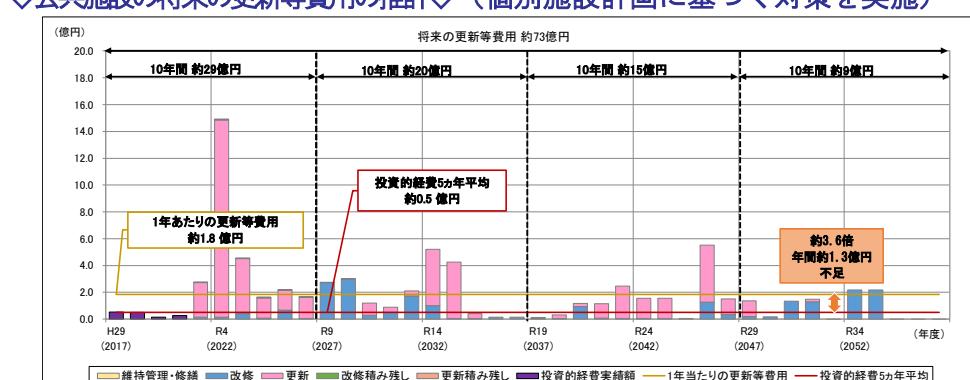
- 建築後30年以上経過している施設が約74%と、老朽化が進行しており、更新や改修が必要な時期が到来
- 施設の更新や改修には多額の費用を要することや、更新時期が集中することが想定され、施設の安全性や性能の確保と、更新や改修に係る費用の抑制・平準化が必要

- 小学校の統合に伴い、町立長南小学校や放課後児童クラブ等を新設により、施設保有量全体は、若干増加

→旧4小学校については、施設規模適正化の観点から、将来的な施設のあり方について、検討が必要

→個別施設計画において、将来的な方針を明らかとしていない施設についても、施設規模の適正化を踏まえた方針の具体化が必要

◇公共施設の将来の更新等費用の推計



公共施設の将来の更新等費用

耐用年数経過時に単純更新

40年間 約147億円

(約3.7億円/年)

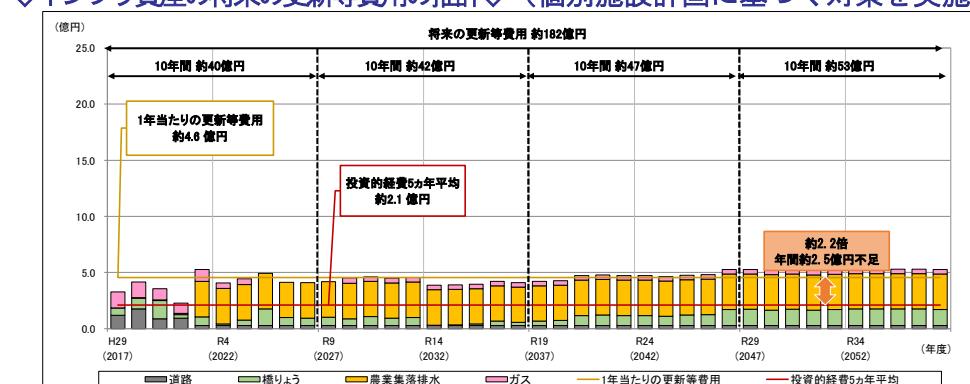
40年間で約73億円の削減効果

個別施設計画に基づく対策を実施

40年間 約73億円

(約1.8億円/年)

◇インフラ資産の将来の更新等費用の推計



インフラ資産の将来の更新等費用

自然体費用

40年間 約262億円

(約6.5億円/年)

40年間で約80億円の削減効果

個別施設計画に基づく対策を実施

40年間 約182億円

(約4.6億円/年)

3 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

3-1 公共施設等マネジメントの原則

原則1 継続可能な公共サービスの提供

将来のまちづくりを見据え、「施設ありき」を前提とするのではなく、「機能」を重視し、施設の規模や配置を適正化

＜公共施設等の保有量適正化の方向性＞

【公共施設】

- ・可能な限りの新規整備抑制
- ・低未利用施設の積極的活用の推進
- ・老朽化し、活用が見込めない施設の積極的な処分
- ・統廃合等での施設規模、延床面積の縮小
- ・保有する必要性が低い施設の地元や民間等への譲渡

【インフラ資産】

インフラ資産は、社会基盤となる施設であり、現時点では基本的に総量の縮減が困難であることから、予防保全型の維持管理に努め、費用の抑制・平準化を図り、持続可能な施設保有を目指します。

原則3 多様なニーズに対応した施設の提供

ユニバーサルデザイン化の推進等、社会的要水準を満たす機能の充実を図り、今後も安定した公共サービスの提供を目指していく

3-2 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

(1)点検・診断及び安全性確保の実施方針

【公共施設】

- 日常的な点検・診断の実施
- 劣化や損傷等への措置
- 施設の除却等の措置

【インフラ資産】

- 計画的な点検・診断の実施
- メンテナンスサイクルの構築
- 速やかな措置による安全性確保

◇メンテナンスサイクルのイメージ◇



(2)維持管理・修繕・更新等の実施方針

【公共施設】

- 計画的な維持管理・修繕・更新の実施
- 協働による維持管理
- 効率的・効果的な維持管理・運営

【インフラ資産】

- 予防保全型の維持管理
- 計画的新設・更新等の実施

(3)耐震化及び長寿命化の実施方針

【公共施設】

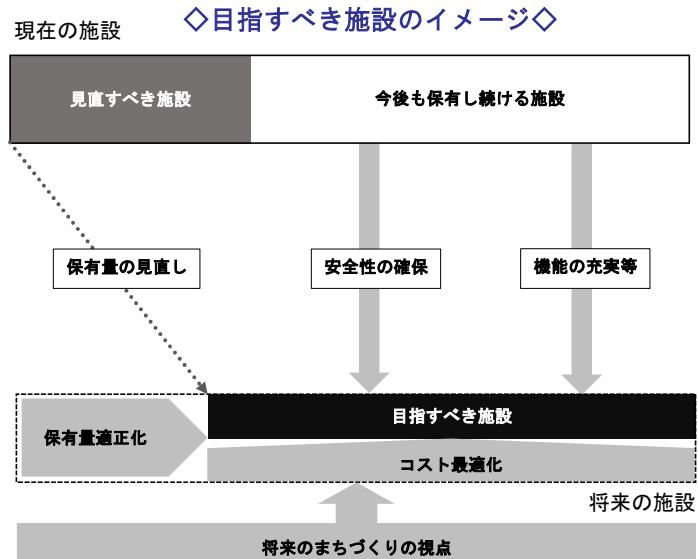
- 計画的な耐震化の推進
- 計画的な長寿命化の推進

【インフラ資産】

- 耐震化の推進
- 長寿命化の推進

原則2 計画的な施設の保全

民間活力の導入、省エネルギー対策などの様々な取組によるコストの縮減に努めるとともに、予防保全型の計画的な維持管理により、施設の安全性確保や更新等にかかる費用を抑制・平準化



(4)ユニバーサルデザイン化の実施方針

- 誰にでも利用しやすい施設整備

(5)統合や廃止の推進方針

【公共施設】

- 施設総量の適正化

【インフラ資産】

- 計画的な整備

◇主な公共施設の再編パターン◇

方法	内容	イメージ	例
集約化	同一機能の複数施設をより少ない施設規模や数に集約	同一の機能 → A → A → 余剰	・更新や改築の際に2つの集会施設を1つに統合
複合化	周辺の異なる機能の施設と統合	A → A → B → A → B → 余剰	・学校の余剰教室に児童館の機能を移植
民間施設の活用	周辺の民間施設を活用	A → 借り等 → 民間施設 → 余剰	・民間住宅を借り上げて公営住宅として供給

(6)固定資産台帳(地方公会計)の活用方針

- 施設の比較・分析とマネジメントの効率化

(7)保有する財産(未利用資産等)の活用や処分に関する基本方針

- 未利用地(「長南西部工業団地計画跡地」、「空港代替地」)の活用

(8)各種計画との連携についての考え方

- 「長南町過疎地域持続的発展計画」と連携した公共施設等の整備の推進

4 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

分類		今後の方針(一部抜粋)
公共施設	住民文化系施設	◇「長南町中央公民館」は他施設との複合化など、施設のあり方について検討 ◇「西町集会所」は今後の利用傾向を踏まえて、改修の実施や管理運営主体の変更等を検討
	社会教育系施設	◇定期的な点検、修繕を行い、適切な維持管理・運営を継続 ◇「長南町教育資料館」は今後の管理と活用方法や施設のあり方について検討 ◇「長南町郷土資料館」は、耐震性がある堅固な構造を活かし、歴史的資料の保存施設として長期的使用を図りつつ、展示機能の別施設への移行を含め、幅広く施設のあり方を検討
	スポーツ・レクリエーション系施設	◇指定管理者により定期的な点検、修繕を行い、適切な維持管理・運営を継続 ◇運用を停止している「美原台テニス場」は改修もしくは廃止を検討 ◇その他のスポーツ施設は長寿命化などによる施設の長期利用を検討 ◇「長南町野営場」は、安全性確保に努め、利用増進、必要に応じて民間への譲渡を検討
	産業系施設	◇「長南町農村環境改善センター」は、老朽化等を踏まえ、廃止を検討
	学校教育系施設	◇「長南町学校施設等長寿命化計画」に基づき、予防保全による長寿命化 ◇「長南町給食所」は、民間活力の導入等の今後の施設のあり方について検討 ◇定期的な点検、修繕を行い、適切な維持管理・運営を継続
	子育て支援施設	◇定期的な点検、修繕を行い、適切な維持管理・運営を継続 ◇「町立長南保育所」は大規模改修に加え、移設を含めた建替えも視野に今後の方向性を検討 ◇「長南町子育て交流館」は機能の維持、関連施設との連携強化を図るため、複合化を検討 ◇「放課後児童クラブ」は、設備等の修繕・更新などの予防保全を行い、長寿命化
	保健・福祉施設	◇「長南町保健センター」は、定期的な点検などの実施や予防保全による長寿命化 ◇「長南町老人いこいの家」は、機能の維持、利用者の安全確保のため、複合化を検討
	行政系施設	◇新庁舎の建設に向け、平成30年度に「庁舎建設基本方針」を策定し、令和2年に実施設計 ◇新庁舎は現庁舎分館の西側に令和4年度中の完成を予定
	公営住宅	◇「町営長南団地」は、転居が完了した棟から順次、解体工事を実施 ◇「町営豊原団地」「町営西町団地」は、必要に応じて今後の施設のあり方について検討
	公園	◇「熊野の清水公園」の駐車場内のトイレは、改修後、予防保全による長寿命化 ◇公共サービス水準の確保に努め、必要に応じて施設整備を実施

分類		今後の方針(一部抜粋)
インフラ資産	道路、橋りょう	◇「道路」は、職員が日常パトロールを行い、適切な維持管理を実施 ◇「橋りょう」とび「トンネル」は、長寿命化修繕計画に基づく予防保全型の計画的な維持管理 ◇損傷などが確認された場合は、適宜修繕を実施
	農業集落排水、農業用ダム	◇農業集落排水は、最適整備構想を策定し、計画的な整備等により、適切な維持管理 ◇農業用ダムは、国庫補助事業を活用して、機能保全計画を策定し、計画的な維持管理
	ガス	◇今後とも法令に基づく定期点検を行い、安全・安心なガスの供給 ◇各部の損傷及び変化等の状況については、適宜修繕を実施 ◇供給施設は、安全性を確保するため、更新を検討
	公園	◇地域住民等による定期的な点検、修繕を行い、適切な維持管理

5 推進体制

(1)全庁的な取組体制の構築、情報管理・共有のあり方

■全庁的な取組体制の構築、情報の一元管理

(2)フォローアップの実施方針

■PDCAサイクルによる計画の推進、議会・住民との情報共有

【問い合わせ】 長南町役場 財政課

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南 2110 番地 TEL:0475-46-2112(代) FAX:0475-46-1214